



R I. 第2620地区 静岡第2分区
三島西ロータリークラブ

週報

第1746号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F
TEL (055) 976-6351 FAX 976-6352
例会場 静岡県三島市本町14-31 みしまプラザホテル
TEL (055) 972-2122
会長 岩崎 守幸 幹事 飯田 守



広重版画より 三島 朝霧

第1808回例会

2009.9.17晴

司 会 佐々木雅浩君

ロータリーソング 「それでこそロータリー」
指揮 石井良衛君

会長挨拶

会長 岩崎守幸君

日本アルプスの山々に囲まれた長野県は伊那谷の美しい自然の中に伊那食品工業の本社があります。赤松などの木々や自然の地形がそのまま残り、その合間に本社社屋と研究所、工場、「かんでんばば」ショップ、多目的ホール、山野草園などもあり、その約3万坪の敷地は「かんでんばばガーデン」として一般的に開放されており、塀も門もなく守衛もない。ここには年間約30万人もの人々が訪れています。多目的ホールではプロの写真家のフォトギャラリーが常設されているほか、地域の方々が発表会や講演会などを行っている。本当にここが一会社の敷地なのかと思うほどきれいで公共性に富んだ素晴らしい場所。昨年創業50周年を迎え、50年もの永きにわたり着実な成長を続け、お客様や社会から愛され続けてきた伊那食品工業の経営の根底に流れるもの、それは「人間の営みのすべては人を幸せにするためのもの。会社も、人がハッピーになるために存在する」という哲学。現に伊那食品工業は売り上げや利益の大きさを追求せず創業以来一度もリストラをすることなく、社員の働く環境を改善しながら社員の幸せを通して社会に貢献することを実践している。このような考えに至った背景について、代表取締役会長の塚越寛さん(伊那RC会員)は、「この会社は貧乏からスタートした。厳しい道のりだったがいつも一緒に苦勞してくれる社員がいてくれた。その社員が何を楽しみに会社に来ているのだらうと考えたことが、経営者である私の基軸になっている」と話す。

“こんにちは、ようこそ”

ゲスト 窪田 明さん(岩崎君・矢岸君のゲスト)
朴 俊範さん(米山奨学生)
ビジター 古口美知子君(三島RC) -以上3名-

出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修出席率
前々回	48/52	92.31%	50/52	96.15%
今回	42/50	84.00%	会員総数	55名

欠席者 遠藤(正)君、勝間田君、栗田君、佐野君、
鈴木(正二)君、鈴木(雅)君、森崎君、柳田君

委員会報告

★奉仕プロジェクト委員会

委員長 千葉慎二君

- ①10月4日(日)の見晴フェスティバルにつきまして、車の乗り合わせなど改めてご連絡します。
- ②10月22日(木)の例会は、平成台工業団地に例会場を変更して職場見学をする予定です。

幹事報告

幹事 飯田 守君

- ①10月2日のガバナー公式訪問の例会点鐘は12:30ですが、ガバナーをお迎えしますので5分前までに着席してください。尚、例会終了後、ガバナーとの質疑応答があります。時間は30~40分くらいです。例会出席する方は、なるべく全員の出席をお願いします。
- ②10月の例会は、例会日、例会場所、点鐘時間が変更になりますので、後日事務局より連絡します。

2009~2010年度
国際ロータリー会長
ジョン・ケニー

ロータリーの未来はあなたの手の中に

花房孝光君

娘の結婚を間近に控え、最後の旅行に四国へ親子3人旅に出かけました。久々のゆっくりした旅を楽しんだのですが、最近の旅行の仕方の変化には驚かされるものがありました。

高松空港でレンタカーを借りた時、7組・8組の客がおり、手続きを済ませた車から出発して行きました。昼前だったので事務所のおじさんに近くの美味しいうどん屋を聞き、立ち寄ると、他に客は1組、後から入ってきた方たちは地元の人々、店の奥さんと楽しく会話もでき、いざ琴平宮へ。

もう一杯食べようと、途中雑誌に載る有名うどん店へ立ち寄ると駐車場はわナンバーの車で満車、レンタカー店で一緒に手続きしていた人々4組程と行き違いました。店内も行列ができており、平日なのにすごい集客力にびっくり！

松山道後温泉本館のまわりには大勢の旅行者、若い女性がコロコロと鞆をころがしながら本館2階へ上がって入浴。15年前にきた時より格段に若者が増えていました。

又、松山城では「歴女」を発見！！甲冑無料試着コーナーで兜を一人でかぶって携帯でパチリ！何枚も撮っていました。

今の10代から20代前半の若者を「おゆとり様」と呼ぶそうです。ゆとり教育を受け、徒競走に順位をつけず、通知表から5段階評価が消えた世代です。

物を欲しがらず、自分の気に入ったものはいつまでも使う。独特の価値観を持った世代だそうです。

E T C、ナビ、携帯電話、インターネット等、便利なものの普及により、確実に日々旅行形態は変化していることを実感させてもらった有意義な旅でした。

ベネファクター表彰



井上幸子君

(週報担当：瀬川幸信)

◆諏訪部(敏)君、B1グルメ全国大会にみしまコロツケを持って参加してきます。19日・20日の2日間です。優勝を目指しています。

◆野田君、アメリカの9・11、9・15、日本の9・16は政権交代の歴史的な日になりました。この日に長男が横浜から清水町に引っ越してきました。今月は私にとっても勤続30周年の月です。来週24日から長男が我が社に入社します。2009年9月は記念月となりますね。

◆井上君、久しぶりのホームクラブ出席です。ご心配おかけしました。田舎新聞の風評被害に泣かされましたが負けません。

◆石井(彰)君、早退します。

ROTARY WORLD ロータリー世界各地から

研修で未来を開く。

パキスタンの未来の電車。2008年はじめに結成されたパキスタン、パンジャブのファローガバッド・ロータリー・クラブが設立した職業研修センターでは、既に135人の女性や少女がクラスを受講しました。このセンターには3つの教室があり、2人の指導員が6カ月にわたるコースで、伝統的なサリーの作り方をはじめとする裁縫を教えています。センターでは、手工芸、コンピューターのハードウェアとソフトウェアの使い方なども研修しています。

ブルガリアの孤児に演劇を。

12月、ブルガリアのソフィア・インターナショナル・ロータリー・クラブが、3歳から16歳まで115人の孤児をつれて劇場を訪れました。昨年に続き2回目となるこの行事には、マクドナルド、コカコーラ、ネスレ、ホールマーク・チケットがスポンサーにつきました。子供たちのために衣服、図書、玩具も集められ、地元の3つの学校の生徒たちもこれに協力しました。